

藤枝市立藤岡小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年6月15日(木)

6月15日(木)、藤枝市立藤岡小学校を訪問し、6年生の皆さんを対象に「土器の分類」「石器(黒曜石)の試し切り」「火起こし」の古代の人々の体験授業を行いました。

本物を目の前にし、さらに触れての体験、興味津々、誰もが目を輝かせて真剣に取り組んでいました。この授業を通して古代の人々の暮らしや歴史に興味関心をもって、今後の学習に生かして行ってほしいと願っています。

◎土器分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器(すえき)の3つの時代の本物の土器片を直接手にとって、みんなで分類する作業を体験しました。模様や肌触りなどそれぞれの時代の土器の特徴や違いを本物の土器に触れて確認しながら、土器を分類しました。



◎感想発表

◎火起こし体験

実際に挑戦してみると、なかなか火種ができません。火種ができて、燃える炎にするのには、またひと苦労、煙が目にしみてつらかった。火を手に入れるのに、こんなに苦労するとは思っていませんでした。しかし、みんなで協力し、コツを覚えると、次々と火を起すことができました。昔の人々の工夫もいろいろと感ずることができました。

◎石器(黒曜石)試し切り



石器(黒曜石)を使って、紙や野菜を切る体験をしました。とても、よく切れたことに驚きました。さらに、昔の人々は鋭く尖る石(自然のガラス黒曜石)を探し、長野県や伊豆諸島まで出かけて行って手に入れていたことを知って、さらに驚きました。



終わりに、授業の感想を一言ずつ発表してくれました。火起こしが大変だったこと。本物の土器に触れて感激したこと。黒曜石の切れ味に興奮したこと。どれも素直な感想でした。